

令和5年8月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,667億円（対前年同月比8.8%の減少、比率ベース：3ヵ月連続の減少）、輸入総額は1,013億円（同17.1%の減少、5ヵ月連続の減少）であった。差引額は655億円（同8.1%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「自動車の部分品」、「科学光学機器」などが増加したものの、「二輪自動車類」、「原動機」、「プラスチック」などは減少した。
輸入は「事務用機器」、「大豆」などが増加したものの、「がん具及び遊戯用具」、「パルプ」、「液化天然ガス」などは減少した。

地域別では、輸出は「アメリカ」、「アジア」、「EU」が減少した。輸入は「アジア」、「EU」が減少、「アメリカ」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,667億円	▲8.8%	1,013億円	▲17.1%	655億円	+8.1%
	3ヵ月連続の減少		5ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	164億円	+26.1%	輸入	増加品目	(1) 事務用機器	22億円	2.0倍
		(2) 科学光学機器	172億円	+9.2%			(2) 大豆	27億円	+30.4%
		(3) 重電機器	60億円	+29.3%			(3) 科学光学機器	12億円	+62.6%
	減少品目	(1) 二輪自動車類	89億円	▲39.6%		減少品目	(1) がん具及び遊戯用具	39億円	▲49.6%
		(2) 原動機	248億円	▲14.0%			(2) パルプ	48億円	▲40.4%
		(3) プラスチック	51億円	▲20.9%			(3) 液化天然ガス	65億円	▲31.5%
主要地域増減	アメリカ、アジア、EUが減少			主要地域増減	アジア、EUが減少、アメリカは増加				

（参考）ドルレートは、142.23円（前年同月比5.3%、7.15円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	8億円	▲39.3%	32億円	▲3.9%	▲24億円	+20.9%
	2ヵ月ぶりの減少		3ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 写真用・映画用材料	357百万円	+29.7%	輸入	増加品目	(1) 石炭	246百万円	全増
		(2) 精油・香料及び化粧品類	115百万円	2.7倍			(2) 金属製品	23百万円	+70.8%
		(3) 金属製品	16百万円	2.0倍			(3) 有機化合物	392百万円	+2.2%
	減少品目	(1) 電気計測機器	3百万円	▲99.3%		減少品目	(1) とうもろこし	13億円	▲42.2%
		(2) 金属鉱及びくず	201百万円	▲49.0%			(2) 無機化合物	—	全減
		(3) 無機化合物	24百万円	▲63.0%			(3) パルプ	27百万円	▲75.5%
主要地域増減	アジア、EUが減少、アメリカは増加				主要地域増減	アメリカ、アジア、EUは増加			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	316億円	+25.8%	25億円	▲2.4%	290億円	+29.1%
	11ヵ月連続の増加		2ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	169億円	+87.6%	輸入	増加品目	(1) 調製石油添加剤	666百万円	+96.0%
		(2) 二輪自動車類	10億円	+18.6%			(2) お茶	65百万円	15倍
		(3) 楽器	32億円	+4.5%			(3) 鉄鋼	775百万円	+5.0%
	減少品目	(1) 無機化合物	8億円	▲56.8%		減少品目	(1) 染料・なめし剤及び着色剤	—	全減
		(2) 運動用具	70百万円	▲88.5%			(2) 木製建具及び建築用木工品	106百万円	▲45.2%
		(3) 自動車の部分品	38億円	▲6.9%			(3) 有機化合物	212百万円	▲26.6%
主要地域増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少				主要地域増減	EU、アメリカが減少、アジアは増加			

4. 静岡空港

輸出入実績なし